

切磋琢磨Ⅲ

R2.12.3 第34号

表現活動をととして感性を磨く ～3年&すぎのこ学級のワークショップ～

プロから教えてもらう授業は貴重な経験

第28号で紹介した4年生の「新しい授業」。先週は3年生、今週はすぎのこ学級の子どもたちが、表現活動ワークショップに参加しました。主催は豊橋芸術劇場「プラット」で、芸術スタッフが子どもたちに指導をしてくださいました。

プロの方々による指導に、子どもたちは最初からくぎづけ！ずっとついて回る子もいたようです。表現活動では、臆することなく個性的な表現を発表する子が多くいました。先生方はすてきな笑顔がたくさん見られ、本当にすばらしい授業だったと思ったそうです。ぜひ、表現する楽しさを F1 グランプリでも見せてほしいと思います。



さて、F1 グランプリの募集をしたところに、参加する子は、80名 近いそうです。臆することなく発信しようとする子どもたちの姿が根付いてきました。発表を楽しみにしています。

校区の鈴木さんから図書を寄贈いただきました

二川校区にお住まいの鈴木登志明様(5年河野桜那さんのおじいさま)が、150周年記念事業のお話を聞いて、二川小学校に本をたくさん寄付してくださいました。

鈴木さんは「本を小さいうちからたくさん読むことは、これから生きていくうえで大変役に立つと思う。自分が育ててもらった二川小学校に恩返しできるよい機会をいただきました。」とお話されました。

寄贈された本は、図書司書の山本さんが皆さんのためにと選定して下さり、まもなく皆さんにも読んでいただくことができます。楽しみに待っていてください。素敵な本がいっぱいありますので、ぜひ借りて読んでみましょう。



図書委員が放送で読み聞かせ

図書ボランティアの方々に例年「読み聞かせ」をいただいています。本年度は難しい状況ですので、給食時間に図書委員会主催で、全校放送による「読み聞かせ」を行いました。

3日間にわたり、図書委員の子たちが一生懸命読み聞かせをしました。本は山本司書さんが紹介くださったものから読み手が選びました。どれも楽しく、聞きごたえがあるお話でした。図書委員の皆さん、ありがとう。

11/25 「ものすごく大きなプリンのうえで」

6年 山本心優さん 河辺睦紀さん

11/26 「しゃっくり がいこつ」

5年 高芝大空さん 澤田あいりさん

11/27 「きいろいのは ちょうちょ」

6年 布施友萌さん 河辺睦紀さん



図書委員の読み聞かせを
真剣にきいていました

人権週間が始まります(12/4～10)

毎年、12月はじめから「人権週間」が始まり、学校では毎年この時期に道徳の授業を中心に「人権」について考える活動を行っています。

全校朝会では、校長が谷川俊太郎作「ともだち」の絵本の読み聞かせをしました。「ともだちってなんだろう?」と考える機会になれば幸いです。

本校の今年度の合言葉は「人権」を守るという意識を高めることに通じるものです。

① 命を大切にする

② 自分がされていやだと思うことは人にしない

この合言葉を意識して、みんなが「人が人として幸せに生きること」ができる社会を創っていきたいものです。

